

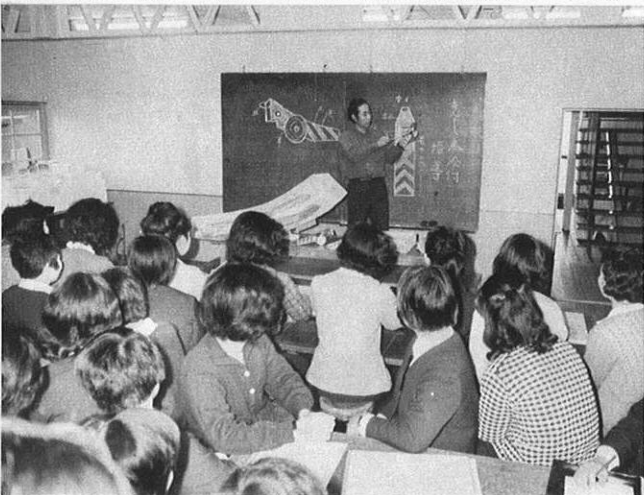


上・赤、黄、青……キジ馬の絵つけも家族ぐるみで…



上・キジ馬の胴体がアラけずりのタッチで形になっていく。

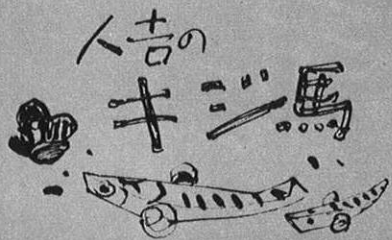
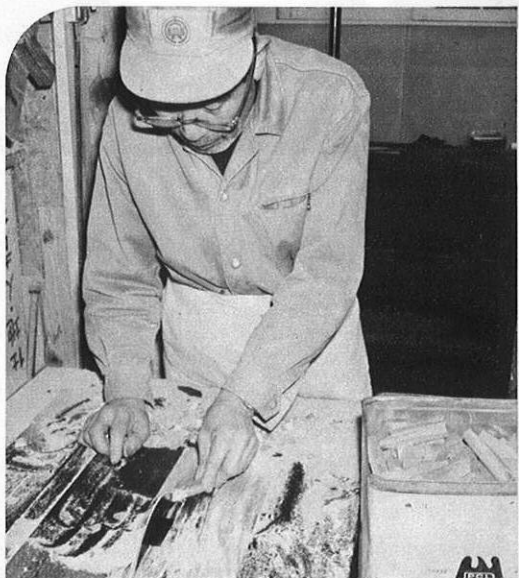
下・量産体制の一環として、絵つけ講習会も開かれている。



右・機械ノコの導入で生産もフルに向上。



右・春の市で呼びもののキジ馬……ほのぼのとした玩具の味が人々の心をなぐさめている。



平家の落人が人吉地方に住みつき、手なぐさみにつくったという由緒のあるキジ馬も、いまや全国郷土玩具のホープにのし上がった。8 cmから1 mまで大きさは色とりどり。昨年から機械導入で月産1万5,000個生産に入っている。

□ 一月の家事

お正月の年始が終わったら今年の生活設計をせひ立てること、とくに若い人たちに、実行するようぞみませす。生徒のおられるご家庭では、八日が始業です。ご用意はいかがですか。

年賀状の整理も十日ごろまでにはすませてください。町名地番の改正で友人、知己の住所変更も多かったこととすよい機会なので、住所録を更新しておきましよう。正月用品の後始末もこのころまでにはすませてください。

一月は冬とはいっても、初春というくらいです。春も間近のこと、春のつくろいものや、衣服の準備にとりかかりましよう。生活も室内にこもりがちですから、換気に気を配ってください。

□ 一月の衣服

お正月に着た晴着の始末はおすみですか。しみやよごれは自分の手に負えないと思ったら専門家に任せましよう。へたをするとあとで使いものにならなくなります。

この四月学校を卒業して就職する方々は、早目に就職用の衣服を用意しておきましよう。二月末から三月にかけては、衣類も高目になります。一月中は洋服屋さんもひまだそうです。冬物の安売りを利用しましよう。こと

しはとくに、繊維業界の不振から、冬物の整理の売出しがあちこちで見られそうです。のび盛りのお子さんのおられるご家庭では、この整理売出しをよく研究されて、合理的な衣服計画をお立てください。

一月も末になると冬物の毛布やマットレスなども季節はじめにくらべ三〜四割安くなるようです。

ただ気をつけなければいけないことは、投げ売り、整理売りと称して粗悪品

★ 知っていると便利です

★ お茶の間で気軽にお読み下さい

くらしのメモ

を売っているところもあります。信用のある店をえらぶこともたいせつです。

□ 一月の食生活

お正月料理も四、五日ごろになると、もてあまし気味。おもちにも飽きましよう。むかしからの風習の「ななくさがゆ」などは、その意味で、一度こころみてください。

とくに七草にこだわることなく、適当な野菜をいれて、正月の残り物でもあつたら、いっしょに煮こんで、おじや風にして食べると、体は暖まり、胃のもたれ

もなく、こどもにも喜ばれます。

野菜不足から、ビタミンC欠乏を注意しましよう。ミカンや大根おろしをできるだけ豊富にめしあがってください。

寒さに負けないように、ビタミンD（牛乳・たまご・レバー・魚の干物・しいたけに多く含む）やB₁（大豆・落花生がよい）なども必要です。

□ 一月の住い

① 水道を凍らせない準備はおすみですか。とくに戸外に水道管が露出していたら、たわらやむしろでかこっておいってください。

② ガス・プロパン・木炭・れんたんだを炊事や暖房に使うときは、取り扱いは十分注意してください。まず火災の原因となること、それに一酸化炭素の中毒の危険。これらの事故が毎年いっこうに減りません。この火災と中毒は、いずれもその結果がたいへん重大です。

そんなときの緊急処置をどうすればよいかは、決して他人ごとではありませぬ。家族全員で、いざというときに備えて、その予防と対策を話し合っておくことが必要です。

農家では、乾田の耕起や、麦ふみが始まります。農機具の修理点検もこの冬期にすませます。温床の準備、なたねの植え付け、堆肥づくりなど春耕への準備がはじまらましよう。（「広報」より）

図書館の充実

図書館の内容充実をはかり、県民への奉仕活動の促進をはかる。このため、①図書基本資料の充実整備、②郷土資料の収集調査、③移動図書館事業の拡充、④読書運動の推進、⑤図書館組織の育成、⑥県総合資料室の設置などの施策を推進する。

青少年の保護育成

青少年の非行の多くは、社会環境および家庭環境によることにかんがみ、青少年問題協議会の組織を強化して、各関係機関と連携を深め、社会環境、家庭環境の浄化をはかり、青少年の健全な育成をはかる。このため、①青少年問題協議会の活動強化、②青少年保護育成運動の主催、③児童委員研修会の開催、④移動児童館の巡回指導、⑤青少年代表会議の開催、⑥少年補導センターの設置などの施策を推進する。

〔後記〕

新年おめでとうございます。一九六六年、昭和四十一年のお正月を、皆さまお元氣でお迎えになられたこととすまよう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。お互いに、この一年をほんとうに意義ある充実した年とするよう努力してまいりましよう。編集部一同